



第16回 東京女子医大 総合診療セミナー

総合診療の視点からとらえた漢方医学 —漢方の基本的な考え方と頻用処方を紹介—

曙クリニック（杉並区） 田中博幸 先生

・略歴

1982年 桐朋高校卒業

1988年 防衛医科大学校卒業（竹村教授と同期）

同時に陸上自衛隊医官となる

2002年 東ティモールPKOに衛生班長（医療部門の長）として派遣

2005年 防衛省を退職、曙クリニックを開院し現在に至る

漢方は1989年に防衛医大病院に漢方外来を開設された稲木一元先生に師事。そのご縁で女子医大東洋医学研究所元教授・佐藤弘先生にご指導いただき、現教授木村容子先生にもお世話になっている。

・資格

日本東洋医学会専門医

日本呼吸器学会専門医

一般的な西洋医学では検査を行い診断（名）がつくと自動的に治療が決まる。すなわち「治療する側」の視点に立っている。対して総合診療では精神心理面や社会的背景も考慮して患者の苦しみにアプローチする。「治療を受ける側」の論理が重視される。患者の状態＝証によってテーラーメイドの治療を行う漢方は総合診療と同じ方向を向いている。今回の講義では総合診療マインドを持つ医師、コメディカルの方たちに漢方の基本的な考え方を紹介し、併せて総合診療の現場で有用な代表処方について解説する。

対象 総合診療に興味のある医師・学生・コメディカル

参加費無料

Zoom開催

事前登録制

日時 2023年**10月4日(水)**

19:30～21:00

参加方法 QRコードよりお申し込みください

* 読み込めない方は下記URLよりお申し込みください

* 必ずではございませんが、日本プライマリ・ケア連合学会の生涯学習単位（医師・薬剤師）が付与されます。

* お問い合わせ先：東京女子医科大学 総合診療科医局
<pcc-ikyoku.br@twmu.ac.jp>

* ZOOM <03-3353-8111 内線：37312>

https://zoom.us/meeting/register/tJ0kfuiujMiG90Ywnwxh_UMTVHBpbGsamlK

